

江別エリア



1 旧町村農場



都市景観賞（建造物部門）

江別市いずみ野 25 番地
酪農先植地・江別のシンボルとして、昔の面影を今に残しています。北海道らしい景観を醸成し、管理の行き届いた住宅・牛舎などの建物と広場が市民開放され、情操教育の場としても活用されています。

3 江別 蔦屋書店



都市景観賞（建造物部門）

江別市牧場町 14 番地 1
洗練されたガラスとれんがのファサードがダイナミックで印象的であり、江別の未来を感じさせる建築物です。
隣接する四季のみのちの緑道とも調和しており、借景を感じられます。

5 学園通り清掃・花壇の手入れ



都市景観賞（活動部門）

江別市元町地内
多くの市民が朝夕の通勤、通学に利用する学園通り（3～5丁目通間）を長年にわたり個人で清掃し、花壇の手入れをしています。
地域の美化はもとより、美しい街づくりを進める上で模範となる活動です。

2 四季のみのち



都市景観賞（特別部門）

江別市一番町～若草町～牧場町
火力発電所の専用軌道跡地を活用した公園で、園内にはかつての歴史を伝える展示物があります。
樹木などにより四季が表現され季節の移り変わりを肌で感じることができ、多くの市民に利用され親しまれています。

（※詳しくはP18をご覧ください）

4 王子ガーデン「アカシアの街」



都市景観賞（特別部門）

江別市若草町 3 番地
自治会、住民参加による景観維持活動が継続して行われ、街づくりのコンセプトがはっきりしています。
住民意識が高く、各戸で景観への配慮・工夫がなされており、住民の街を大切にしたい気持ちが感じられる美しい街並みとなっています。

6 江別市郷土資料館



都市景観賞（建造物部門）

江別市緑町西 1 丁目 38 番地
外観は開拓使時代の建物に似せており、江別の文化・歴史を市民に語り伝えるにふさわしい雰囲気を持っています。
周囲の景観と調和した地域のシンボリックな建物です。

7 石蔵のある家



都市景観賞（建造物部門）

江別市萩ヶ岡 8 番地
重厚な石造倉庫と往時をしのばせる入母屋造りの住宅は、江別の代表産業のひとつだった醸造の歴史を物語っています。
建物の保存状態が良く、地域のシンボリックな建物です。

9 本町通りの街路灯とシンボルモニュメント



都市景観賞（特別部門）

江別市 4 条 7 丁目 1 番地 1 他
れんが歩道に調和して、陶芸品などのギャラリーを組み入れたユニークなデザインです。
その楽しさや美しさが行き交う人々の心を魅了し、個性豊かな街並みの先導的な役割を果たしています。

11 江別市コミュニティセンター及び中央公民館



都市景観賞（建造物部門）

江別市 3 条 5 丁目 14 番地
れんがの温かさを十分取り入れ、人間性・美観性・文化性などに配慮しています。
近代的なデザインの中にシンボリック性を兼ね備え、これからの地域の都市景観を誘導していく建物です。

13 アートスペース外輪船



都市景観賞（建造物部門）

江別市 2 条 1 丁目 5 番地 2 の内
明治 30 年に穀物集積倉庫として建造された「旧岡田倉庫」を整備改修。水運で栄えた時代の貴重な歴史的建造物であり、現在は地域の音楽や芸術などの地域文化発信拠点として利用されています。
「旧岡田倉庫」は、令和 5 年度に解体、令和 6 年度に復元予定。

15 CAFE HACK BERRY



都市景観奨励賞

江別市東光町 25 番地 8
古民家を再利用し、昔ながらのれんがを継続して使用したれんがの良さが伝わる見本となる建築物です。
寒冷地独自の二重れんがの構法も貴重で、残していきたい建築物です。

A 市立病院前バス待合所



ランドマーク施設

江別市若草町 6 番地 1（市道 2 番通沿い）
看護師の帽子をイメージし、正面中央に緑十字のマークが入ったお洒落なデザインになっています。
内部には市民の手作りによる「白雪姫と 7 人の小人」のれんがレリーフが飾られています。

8 江別市水道庁舎



都市景観賞（建造物部門）

江別市萩ヶ岡 1 番地
江別の水道発祥の地に建ち、水道の歴史を市民に継承しています。
れんが色と周辺の豊富な緑がよく似合う、江別らしい景観の建物です。

10 有限会社あんねんの装飾



都市景観賞（特別部門）

江別市 5 条 3 丁目 7 番地
新たな商店の装飾・展示方法に創意工夫を行い、市民にやすらぎを与えています。
美しい魅力ある地域商店街づくりの先導となることが期待されている装飾です。

（見頃：5 月下旬～6 月上旬）

12 ドラマシアターどもⅣ



都市景観賞（建造物部門）

江別市 2 条 2 丁目 7 番地 1
大正 11 年に江別郵便局として建てられ、数度の改装を経ながらも当初の形を残したまま現在も利用されています。
れんがとコンクリートの骨格が素晴らしく、江別の歴史が感じられるような建築物です。

14 こいのぼりフェスティバル



都市景観奨励賞 ※ 川流し掲揚は令和 4 年度まで（開催：4 月下旬～5 月上旬）

江別市大川通 6 番地
かつて舟運の要衝地として栄えた地で行われるイベントは、市制 50 周年を記念して始まりました。
青少年の健やかな成長を願い掲揚されるこいのぼりが風にたなびく姿は、周辺の景色と相まって記憶に残る景観を創り出しています。

16 泉の沼公園の水辺 ～水辺に映える初夏の沼景～



都市景観賞（特別部門）

江別市東光町 31 番地 1 他
池の水面に映える美しい木々や住宅は、住宅地に溶け込んだ公園との一体感を感じさせる魅力的な景観です。
この公園の豊かな緑と水辺は地域の憩いの場として、やすらぎのある風景を創出しています。

B 東光町南バス待合所



ランドマーク施設

江別市東光町 47 番地 16（道道江別長沼線沿い）
地域住民に親しまれるようにサイロをモチーフとし、四季折々の風景を彩る江別特産のれんがを使用しています。
最上部には「太陽が昇るまち」をイメージした塔飾り、内部壁面にはレリーフ「21 世紀の江別」がはめ込まれています。